



#### 国土交通省 北陸地方整備局

# 富山河川国道事務所

Toyama Office of River and National Highway

記者発表資料

平成30年3月27日 配布:県政記者クラブ

扱い:配布後解禁

#### とやま こくさい

# 富山国際大学生が、道の駅で地域活性化を進めています

- 国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まる「道の駅」を、観光振興や地域 づくりを学ぶ学生の実習の場として活用することを進めているところです。
- その一環として、富山国際大学と、道の駅「ウェーブパークなめりかわ」・道の 駅「砺波」、富山河川国道事務所の3者が、連携企画型の実習を実施しています。
- 今回、実習成果ができあがったのでお知らせ致します。

### 【実習成果】

①道の駅「ウェーブパークなめりかわ」

道の駅「ウェーブパークなめりかわ」で富山国際大学の学生案を活かした フォトスポットパネル(顔出し看板)を設置します。

②道の駅「砺波」

道の駅「砺波」で富山国際大学の学生が、作成した道の駅「砺波」周辺アク セスマップを砺波市観光協会事務局長に渡す手渡し式を行います。

### 【日時及び場所】

①平成30年3月29日(木)11:00~:道の駅「ウェーブパークなめりかわ」

ほたるいかミュージアム

②平成30年3月30日(金)11:00~:道の駅「砺波」観光案内所

### 【報道機関の皆様へ】

当日に取材をされる場合は、11時に各道の駅にお集まり下さい。

#### ◆実施内容に関する問い合わせ

○富山国際大学現代社会学部 現代社会学科教授 〒930-1292 富山県富山市東黒牧65-1

○道の駅「ウェーブパークなめりかわ」駅長 なめりかわしなかがわら 〒936-0021 滑川市中川原410

○道の駅「砺波」

一般社団法人砺波市観光協会 事務局長 となみしみやざわちょう 〒939-1388 富山県砺波市宮沢町3番9号

ながお はるあき 長尾 治明

TEL: 076-483-8000 FAX: 076-483-8008

こばやし まさき 小林 昌樹

TEL: 076-476-9300 FAX: 076-476-9301

あんち まこと 安地亮

TEL: 0763-33-7666 FAX: 0763-33-7669

#### ◆制度に関する問い合わせ

○富山河川国道事務所 調査第二課長 〒930-0837 富山市奥田新町2番1号

あらかわ てつお 荒川 哲郎

TEL: 076-443-4717 (調査第二課直通)

FAX: 076-443-4718

### フォトスポットパネル(顔出し看板)設置会場位置図

## ■会場:<u>道の駅</u>「ウェーブなめりかわ」ほたるいかミュージアム

〒936-0021 富山県滑川市中川原410

TEL: 076-476-9300 FAX: 076-476-9301



### 道の駅「砺波」周辺アクセスマップ手渡し会場位置図

# ■会場:道の駅「砺波」観光案内所

〒939-1388 富山県砺波市宮沢町3番9号 TEL:0763-33-7666 FAX:0763-33-7669



■道の駅「ウェーブパークなめりかわ」 3/29設置【フォトスポットパネル(顔出し看板)イメージ図】



■道の駅「砺波」3/30手渡し【道の駅砺波周辺アクセスマップ】



 (表)

(裏)

### ■富山国際大学(現代社会学部、子ども育成学部)

#### ●基本理念

共存・共生の精神と知性を磨く教育を基本に、 時代の潮流に対応できる、健全にして個性豊かな 人材を育成して、国際社会および地域社会の発展 に寄与します。

●現代社会学部の教育目標 これからの21世紀を支える、国際的センスを 持った、地域に精通し、かつ常に時代の潮流に対 応できる実践的な人材を育成すること。



### ■道の駅「砺波」

「道の駅 砺波」には、球根はもちろん、お菓子や花びら染めなどチューリップにこだわったユニークな商品がいっぱい。強いコシとなめらかな喉ごしが特徴の大門(おおかど)素麺や、清流庄川の水で育まれたお米、そして地酒などの特産品に加え、朝採れの新鮮野菜も揃い、おみやげ選びには事欠きません。



## ■道の駅「ウェーブパークなめりかわ」

富山湾に面する道の駅「ウェーブパークなめりかわ」は、海岸線から3000m級の立山連峰を仰ぎ見ることができ、「ほたるいかミュージアム」、「タラソピア」、「休憩施設」を核として、海、水に親しみ、自然を楽しむ施設として整備されました。特に「ほたるいかミュージアム」は、マーケット、レストランのゾーンとホタルイカの不思議な世界と深海を思い起こさせる、幻想的な光で演出されたミュージアムの2つのゾーンから成り、海洋療法のアイテムを採り入れた深層水体験施設とともに観光拠点、地域のシンボルとなっています。



# 「道の駅」と大学の連携について

- 〇「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の実習や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ若者の交流により、新たな価値の創造を図り、 観光・地域づくりを担う将来の人材育成や地方創生にも寄与。
- 就労体験型と連携企画型の2タイプを実施。

### 実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会と国土交通省が連携して双方のニーズをマッチング

### 実施のメリット

く大学のメリット>

○道の駅は、地域の資源 が集中し、地方が直面 する課題が明確であり、 学習するフィールドとし て最適 <「道の駅」のメリット>

- ○若者ならではの視点、 若者の元気による実行 力のある企画の実施
- OSNSやロコミなどを活 用した情報発信

### 就労体験型と連携企画型について

	項目	就労体験型 連携企画型
	期 間	夏期休暇を活用した <mark>概ね2週間</mark> 以上の長期宿泊型を想定 通年の授業の中での通いを想定
	受入学生	全国の大学を想定 道の駅 <mark>近傍</mark> の大学を想定
ſ	受入人数	学生個人単位 でき単位(少人数~10名程度のグループを想定)
	スケジュール	マッチング マッチング 別整が整い次第、   本協定の締結   本協定の総   本協定の   本は体にの   本は